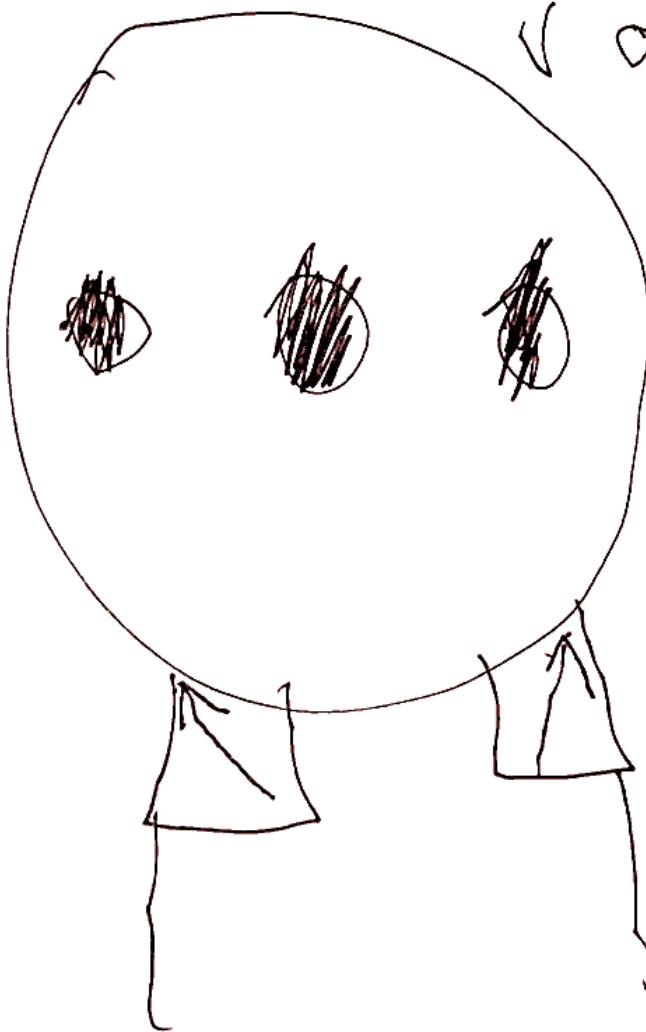


よ・たこち

美肌通信



月号



い
お
い
よ



ゆうきみと

Jane

今月号のとよたち美肌通信の表紙は、
表紙を描いてくれた男の子の大好きな

信号機です(๑)

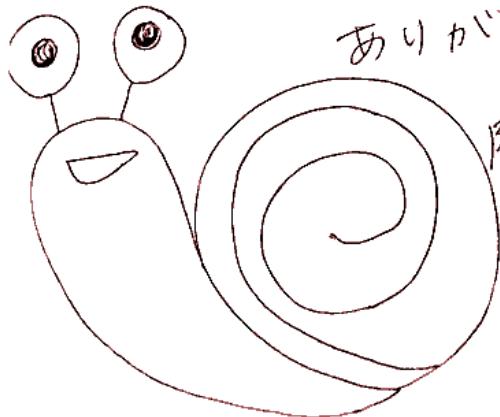
大きな信号機をしっかりと確認して、交通
ルールを守りましょう!!

ロタゴラ装置やはさみや、のりで工作する
事が好きで、歌をうたう事が得意な
男の子が描いてくださいました!

ありがとうございます。

院長はじめスタッフ一同

心より感謝いたします。



船森和夫氏は著書「成功と失敗の法則」の中で、宇宙には知恵の蔵がある。必死に研究費に打ち込んでいると、その知恵の一端に触れ、画期的な新材料や新製品を世に送り出す事が出来ると述べている。また同氏が設立した京都賞（科学や技術、思想、芸術の分野において貢献した人物に与えられる国際賞）の授賞式の折に賞を授与される研究者達は異口同音に、発明発見に至るプロセスで創造的な閃きを神の啓示の如く受けたことがあるという。

では天はどの様な人に啓示となる閃きを与えるのか。「美しい心を持ち夢を抱き誰にも負けない努力を重ねている人に、神はあたかも行く先を照らす松明を与えるかの様に、知恵の蔵から一筋の光明を与えてくれる」と船森氏は語っている。

話は転じ、世界初のアルツハイマー型認知症治療薬の開発者である杉本八郎氏（同志社大学客員教授・グリーンテクノ社長）は真に前述した研究に打ち込み弛まぬ精進の末に「アリセント」の開発を成し遂げた。現在は更なる根本的治療薬の開発に邁進している人物である。

杉本氏もまた求道に努め究める人である。
自分は9人きょうだいの8番目で次男で育ったと語る。
家庭は常に貧しく献身的な母の後ろ姿が研究者としての人格形成の基盤となつたと、逆境こそが人生最大の教育者であると言っている。
黎明や発見の以前にはある時期、夢中になって打ち込む期間が必要で死に物狂いで努力する人のまことに天は味方してくれると言っている。

事ある毎に多様化と呼ばれる現在。多様化とは別の言い方をすれば“個人重視化、または法律に背かない限り我慢する必要がない自由が許される社会”とも言えるでしょう。しかしそれでは他人より抜き出たり、ハイエニアとして成功することはないでしょう。
どの分野においても成功者やハイエニアと言われる人物は全て一様に愚直に自分の信じた道を歩み続けた末に掴んだものと私は考えます。

かのスティーブ・ジョブズもスタンフォード大学で行った講義の中で次の様に述べました。「Stay hungry, stay foolish」。ここで言う foolishとは「愚かであれ」「愚直であれ」という所。前述の杉本氏の死に物狂いで努力すると深く共通するものと私は思います。

院長 持